

## 2019年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回 (4月19日)	《講演会》 「Health Reform under the Trump Administration: Focusing on Roles of Executive, Legislative and Judicial Institutions」 ディーン・M・ハリス氏 (ノースカロライナ大学公衆衛生大学院 准教授)
第2回 (6月21日)	《講演会》 「映画における「形態」への問い～反逆とスーパーバグ～」 イゾルデ・スタンディッシュ氏 (ロンドン大学 名誉教授)
第3回 (7月11日)	《講演会》 「デンマークの自閉症教育の理念と動向～ブロンデア学校における試みと実践～」 タンブル 有田 妙氏 (デンマーク アルバスルンド市 / 特別支援学校 Brøndagerskolen 教員)
第4回 (8月6日)	《講演会》 「Building Progressive Social Policies Today: Lessons from the United States and Canada」 ダニエル・ベランド氏 (カナダ マギル大学 教授)
第5回 (10月8日)	《講演会》 「The Total Turing Test. Robotics from Japanese and European perspectives トータルチューリングテスト：日本と西欧におけるロボティクスの見解」 ジョス・デ・ムル氏 (オランダ エラスムス大学 正教授)
第6回 (2月14日)	《講演会》 ①「マリアグジェゴジェフスカ大学における研究レビュー」 バルバラ・マルチンコウスカ氏 (ポーランド マリアグジェゴジェフスカ大学 副学長) ②「ポーランドにおける特別な教育的ニーズのある子どもたちの社会的魅力」 エヴァ・マリア・クレシャ氏 (ポーランド マリアグジェゴジェフスカ大学 教授)
第7回 (3月7日) ※中止	《講演会》 「欧米諸国のアクティベーション政策はどう変わったかー日本の政策への示唆」 Ivar Lødemel 氏 (オスロ メトロポリタン大学 教授) Bjørn Hvinden 氏 (オスロ メトロポリタン大学 教授) Flemming Larsen 氏 (デンマーク オールボー大学 教授)

※第7回に予定していた研究会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。